



夙川学院中学校・夙川学院高等学校

## 芦高 七美さん

桃山学院高等学校出身  
2015年 文学部 卒業

理解してもらうためには興味喚起も大切。  
楽しく学べる授業を心掛けています。

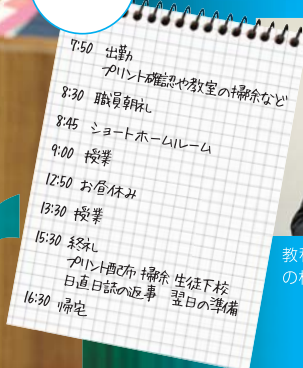
今春、夙川からポートアイランドへ移転し女子校から共学校へと変貌を遂げた夙川学院中学校と高等学校。そこで、昨年度から中等部と高等部の英語と中学1年生の担任として教職に就いたのが芦高七美さんです。

小学2年生の時に英会話を習い始めた芦高さんは、もともと人に何かを教えることが好きでしたが、高校3年間お世話になった先生の、生徒を分け隔てなく接する人柄に魅かれ教師を志したと言います。

教諭として働き出した当初、芦高さんは、保護者との接し方に戸惑いを覚えたとか。「高校の生徒とあまり年齢差のない若い自分が教師として年上の保護者からさまざまな質問を受けるので、言葉遣いや態度にとても気を使いました」。教職は他の職業と違い、1年目でも生徒が入学した時点から、すでに「一人前」として仕事をします。生徒や保護者からすれば1年目もベテランも変わりなく「先生」なのです。授業は、分かりやすさ、楽しさを考え、ゲームやクイズ形式を取り入れて準備。「英語を話すのが楽しい」という言葉や大学に合格した生徒からの感謝の言葉が嬉しいと言います。担任クラスでのトラブルも、自分の意見を生徒に押し付けるのではなく、理由・原因をじっくり話し合うことで解決しました。思いを正直に吐露したことで3学期に生徒から「絆が深まった」と言う感想までもらえたそうです。

「教職を目指すなら、良いことに限らずさまざまな経験を。人としての幅が広がり、生徒への理解も深まります」。芦高さんは、すっかり先生の顔をして、そう教えてくれました。

### ある1日のスケジュール



教科書、ワークブックや指導記録のほか、授業に使用するオリジナルの板書計画ノートも必需品。